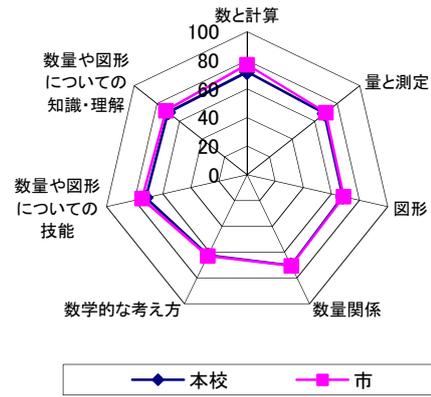


宇都宮市立西原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	71.8	77.0	70.4
	量と測定	68.7	69.8	68.5
	図形	68.1	68.6	72.4
	数量関係	70.2	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	62.5	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	72.1	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	70.0	72.0	74.9



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●分数の乗法・除法の計算では、約分ありの問題で誤答が目立った。 ●文章問題においては、題意に合った式を選ぶ問題において誤答が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を継続し、さらに個に応じた指導を充実させていく。 ・文章問題においては、題意や立式の手順を再確認するとともに、練習問題に数多く取り組むようにする。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題に合った式を選ぶ問題はよくできていた。 ●ひし形の面積を求める問題では誤答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて既習事項を振り返る機会をもち、学習内容の深化・統合を図っていく。 ・面積の公式を再確認するとともに、練習問題に数多く取り組むようにする。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ○点対称な図形の対応する点を見つける問題や合同な三角形を作図する問題はよくできていた。 ●線対称な図形の対応する点を求める問題では誤答があった。 ●五角形の内角の和を求める問題では、誤答が目立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物や視聴覚教材を活用し、対応する点や辺、角などがイメージしやすいようにする。 ・多角形はいくつかの三角形に分けることができることに気付けるようにするとともに、練習問題に多く取り組むようにする。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ○帯グラフから割合を読み取る問題はよくできていた。 ○反比例の表を読み取る問題は大変良くできていた。 ●文字を使って立式する問題や1つの文字の値からもう片方の文字の値を求める問題での誤答が目立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、割合を使った場面を意識させるとともに、練習問題に数多く取り組む。 ・文字式に抵抗感をなくすため、□や○を利用した式を想起させながら問題に取り組む機会をもつ。